



清川

『子どもたち一人一人が
主役として輝く学校』

学校教育目標

『考える子（知）豊かな子（徳）強い子（体）』

キャッチフレーズ

『笑顔あふれ 心あったか 清川っ子』

重点（目指す子どもの姿）

【チャレンジ】【挨拶・感謝】【思いやりの心】

令和7年2月10日発行 No.21（文責 新津 貴裕）

感謝の気持ちを伝える3学期に

保護者、地域の皆様、令和6年度の教育活動もあと1ヶ月と少しくなりました。『子どもたち一人一人が主役として輝く学校』を重点教育目標として掲げた今年度も、子どもたちや教職員皆が笑顔溢れる素晴らしい1年となりました。これも、保護者、地域の皆様が『最協（強）チーム清川小』の一員として、本校の教育活動へのご理解とご協力を惜しみなく続けてくださったからこそです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、1月28日（火）に今年度8回目の全校朝会がありました。これまでも全校朝会や始業式・終業式では、校長として子どもたちに伝えたいことや今年度の重点『目指す子どもの姿』の3つについてなどを題材として取り上げ、プレゼン形式で話してきました。【チャレンジ】については、5月全校朝会での『チャンスの神様をつかもう』、2学期始業式『目標の立て方』、2学期終業式『挑戦と失敗』の3回に渡り、【思いやりの心】については、8月全校朝会での『空気』で、【挨拶・感謝】については1学期始業式での『ABCDの法則』で触れてきました。そして今回の全校朝会では、【感謝】に重点を置いた『ありがとう』と『あたりまえ』について話をしました。『ありがとう』の反対語が『あたりまえ』ですが、意外と子どもたちは、わかっていませんでした…。

1. 『ありがとう』の大切さ

『ありがとう』と言うことは、相手に感謝の気持ちを伝える素晴らしい方法です。この一言で、相手に自分の気持ちを伝えることができ、お互いの心が温かくなります。

2. 『あたりまえ』とは

私たちの日常生活において「当たり前」と感じることはかなり多いと思います。例えば、毎日学校に来て勉強をすることや、友達と遊ぶこと、ご飯を食べること、トイレが使えること、家族がそばにいること、今生きていること…など。よく考えると、これらの「あたりまえ」は、実はたくさんの人々の支えがあって成り立っています。お父さんお母さんが働いてお金を稼いだり、先生が一生懸命教えたり、農家の方が食べ物を作ってくれたり、いろいろな人の努力があってこそその「あたりまえ」なのです。

3. 感謝の気持ちを忘れない

「あたりまえ」と思っていることに対して、感謝の気持ちをもつことは大切です。毎日の『あたりまえ』に感謝の気持ちを忘れないことで、自分も周りの人ももっと幸せになっていきます。

4. 実践してみよう

一日一回、誰かに「ありがとう」を伝える意識で生活をしていくこと。最初は恥ずかしいと感じても、続けることで自分の気持ちが変わってくるはず。そして、自身が「ありがとう」と言われたときのうれしさを感じてほしいですね。大人になっても「ありがとう」と言われるととても嬉しく幸せな気持ちになりますよね。心から「ありがとう」を伝えられる人はすてきだと感じます。

学校は年度末を迎え、まもなく別れの月『3月』を迎えます。節目となるこの時期、子どもたちには改めて「感謝を伝えたい人」は誰かを考えてもらい、たくさん「ありがとう」を伝えてほしいと思います。「ありがとう」は、私たちが幸せにしてくれるスーパーワードです。



『愛すキャンドル』大成功!



感謝の気持ちをもって

1月23日(木)、例年より早い時期とはなりましたが、今年度の『愛すキャンドル』が実施されました。まずは、今回の実施にあたりお力添えを頂いた、氷彫刻家の一ノ瀬様と中村様、PTA三役の皆様、清川地区青少年育成者連絡協議会の皆様にご心から感謝いたします。ありがとうございました。当日を迎えるにあたり、各学級で毎年行われている『愛すキャンドル』は、多くの人の支えがあって開催できていること、感謝の気持ちをもって参加するよう子どもたちに伝えてもらいました。清川の子どもたちにとっては『あたりまえ』となっているこのイベントですが、本当多くの方に支えられ実施できていることを校長として強く感じております。このような他校にはない、すてきなイベントを毎年継続して開催できていることに感謝するとともに、清川地区を誇りに感じております。次年度は、記念すべき『開校60周年』となり、この『愛すキャンドル』は記念事業の締めくりになる予定です。これからも、このすてきなイベントが清川地区の宝物として続いていってほしいと思います。



図書ボランティア『パレットの会』の皆様 ありがとうございます。



1月24日(金)の朝学習の時間帯、図書ボランティア『パレットの会』の方による読み聞かせが各学級で行われました。全ての学級の様子を見させていただきましたが、子どもたちは最後まで集中してお話を聞いていました。低学年では『どっち(ひろたあきらさん著)』という参加型絵本の読み聞かせでしたが、大盛り上がりでした。『読み聞かせ』には、子どもたちが新しい語彙や文法構造を学び、言語能力が向上したり、物語を聞くことで、ストーリーの構造やキャラクターの感情を理解する力を養ったりすることができます。他にも、想像力をかき立て、創造的な思考を促進したり、物語を通じて、さまざまな感情や状況に触れることで、共感力や感情の理解が深まったりします。これからも『パレットの会』の皆様にはお世話になります。子どもたちには、この貴重な機会に感謝の気持ちをもって参加してほしいと思います。



PTA環境部の皆様へ感謝

すばらしい!! 清川っ子2024

暖冬に少雪というこれまでにない今年の『冬』(4日に想像を絶する大雪が降ってしまいました)。多くの学校でスケートリンク造成をあきらめなければならぬ中、本校においてはPTA環境部の皆様のご尽力により、子どもたちは十勝の冬ならではのスポーツを満喫することができました。心より感謝いたします。

一時は高温と湿り雪の影響で壊れかけたリンクですが、何とか職員で散水・補修を行い、保護者の皆様に子どもたちのスケートにチャレンジする姿を見ていただくことができ、とても嬉しく思います。



第61回帯広市児童
スケート選手権大会
第3位
2年 さん

3日間の臨休明け後の7日(金)の朝の教室は、久しぶりに友だちに会えた喜びで、どの学級も子どもたちの笑顔と歓声にあふれていました。この日は、元気に41名全員登校!とても嬉しいことです。